

# 大田区 歴史スポットマップ ～嶺町・鶉の木編～

## ● 御嶽神社 (①)

天文4年(1525)年の創建といわれています。その後、江戸時代末期に一山行者が、木曾御嶽山(長野県・岐阜県)の関東第一分社として現在の社殿を建立したと伝わります。のちの幕末から近代にかけ、多く石碑や大絵馬が奉納され、明治時代以降は地域の氏神さまとして親しまれています。

国登録：水行堂、一山神社祖霊社、社務所  
(上記全て内部非公開)

区指定：社殿彫刻(外から見学可)



大絵馬「文久銭額」(山狗)  
(御嶽神社蔵：通常非公開)

## ● 都立田園調布高等学校内遺跡 (②)

校舎の建て替えにともなう発掘調査の結果、縄文時代の土坑7基や弥生時代後期の方形周溝墓5基などが発見されました。第1号方形周溝墓からは、さまざまな種類の玉類が出土しました。



玉類

## 鶉の木エリア

### ★ 鶉の木一丁目横穴墓群 (⑤)

7世紀中葉～後葉を中心に造られたお墓で、7基発掘されました。このうち6号墓からは3体の人骨が出土し、内部と入口部分が保存展示されています。区内で横穴墓が見学できる場所はここだけです。



6号墓人骨出土状況

### ★ 光明寺 (⑥)

8世紀半ばに開創され、13世紀前半までは真言宗の寺院であったと伝えられています。寛喜年間(1229～1232)に浄土宗に変わりました。境内からは鎌倉～室町時代の板碑(石製の供養塔)が1500枚以上発見されています。

都指定：木造四天王立像(通常非公開)

### ★ 荒塚(光明寺内) (⑦)

光明寺周辺は西嶺町から続く台地上に位置し、古墳と横穴墓が造られました。光明寺本堂北側で調査された荒塚は6世紀前半の古墳です。



荒塚出土円筒埴輪 (非公開)

## 嶺町エリア

### ☆ マメ知識「庚申供養塔」(庚申塔)とは?

60日に1日来る「庚申」の日、人間の体内にいる三尸という虫が、寝ている間に天帝へその人間の悪事を報告しに行くのを防ぐため、徹夜で飲食をする「庚申待」という行事をした記念に建てられることが多くありました。病気や邪気を除くとされる青面金剛像や三猿を彫ったものが多いですが、ほかにも日蓮宗の題目が彫られたり、道標や村境の意味を兼ねたもの、二世安楽(現世と来世の安楽)の願いを込めたものなどもあります。

### ● 密蔵院 (③)

金剛尊院(かつての庚申堂)に安置される青面金剛像は、通称「沼部の庚申さま」と呼ばれています。境内には地蔵菩薩が彫られた大田区最古の庚申供養塔をはじめ多くの石造物が奉納されています。

区指定：大日如来坐像(本尊)、弘法大師坐像、  
青面金剛及び二童子四夜叉立像、  
(上記いずれも通常非公開)  
庚申供養塔(見学可能)



青面金剛及び二童子四夜叉立像  
(密蔵院蔵：通常非公開)

### ● 六郷用水「嶺の切通し」(女堀) (④)

名前の由来は、高低差がある硬い地盤を深く掘り下げる必要があり用水開削の最難所ともいわれたため、女性も作業に加わったという説や、工事責任者の小泉次大夫の夢に木花咲耶姫が出てきたという説などがあります。現地には「六郷用水の由来」「女堀」の看板があります。

## マップに出てくる遺跡・寺社の年表

時代	西暦	主な遺跡・社寺のできごと
弥生	200	都立田園調布高等学校内遺跡の方形周溝墓
	300	
古墳	400	光明寺の荒塚(古墳)
	500	
奈良	600	鶉の木一丁目横穴墓群 光明寺の創建(伝)
	700	
平安	800	鶉ノ木八幡神社の創建(伝) 御嶽神社の創建(伝)
	900	
鎌倉	1000	光明寺が真言宗から浄土宗に変わる
	1100	
室町	1200	六郷用水の開削 密蔵院の火災と再建 観蔵院薬師堂の建立
	1300	
江戸	1400	嶺の四庚申の造立 御嶽神社の社殿建立(伝)
	1500	
明治	1600	
	1700	
	1800	

★今後の調査で内容が変わる可能性があります。

さらに詳しくは、こちら↓もご覧ください! 郷土博物館で購入できます。  
『大昔の大田区』(価格: 300円)  
『大田区歴史散策ガイドブック(嶺町・田園調布編)』(価格: 100円)  
『大田区歴史散策ガイドブック(鶉の木・矢口編)』(価格: 100円)  
『嶺の御嶽山と一山行者』(価格: 1,000円)